

期待こそ今戦論

消費税・社会保障

子育て世代割り切れない

衆議院が21日解散され、事実上の選挙戦がスタートした。消費税の先延ばしは是非、集団的自衛権、原発再稼働……。様々な政策に対し、有権者は目を凝らしている。

2014 衆院選



女性活躍推進

派遣法改正

廃棄物々客旧と女者と

事務職など一般業務の場合、企業は派遣労働者を最長で3年しか雇えなかったが、改正案は、3年ごとに働き手を代えれば、同じ業

安倍首相は、今回の解散を「アベノミクス解散」と掲げた。消費税増税を先送りし、経済政策を最大争点に掲げる首相に、子育て中の母親たちの思いは割り切れない。
名古屋市長の長沢加奈子(51)は、消費税増税の延期に反対だ。小学生の長男(6)と保育園に通う長女(3)を育てながら、事務職のパートとして働いている。
政府は、増税で得た財源の一部を毎年約7千億円の子育て支援策に使うと説明してきた。「増税分を保育所の充実に充ててもらえば、子育てしやすくなる」と期待していたから残念。
4年前、長沢さんは長男の保育所探しに苦労し、入るまでに数カ月かかった。働きたいのに働けない当時は振り回り、「子どもを安全な場所に預けられないことが、働く母親にとって一番の不安」と話す。
「子育て支援や学童保育の解散後、さっそく街頭に立つ候補者予定者の主張を聞く人たち」21日午後4時50分、名古屋市中村区、高橋雄大撮影

を充実させるための増税なら構わない。子育てする親の実態を知っていて、具体的な改革案を持っている人に投票したい」と

一方、2歳と3カ月の2人の娘を育てる名古屋市の千種区の主婦、福田美来さん(27)は、消費税増税の延期に賛成する。

今春、夫の転勤で名古屋に引っ越してきた。営業職の夫の収入は、安倍政権になってからもほとんど変わらない。「おむつや離乳食

など、とにかくお金がかかる。私が働けない今、消費税増税の延期は正直うれしい」と
候補者を選ぶポイント
は、やはり子育て支援だという。「消費税増税を延期しても、他の税収でカバーできる仕組みを作れる人に当選してもらいたい」と話す。

原発再稼働

住民の意見耳傾けて

年明けにも再稼働が予定されている九州電力川内原発(鹿児島薩摩川内市)。そこから約8キロのところに暮らす元教員の富永優さん(84)は同県いちき串木野市に、心配を募らせている。「今回の選挙ではアベノミクスなどの陰に、大事な原発の問題が隠れてしまっているのではないかと再稼働反対の署名運動では、市民の約半数の署名が集まった。富永さんも活動に加わり、30人分を集めた。だが知事と県議会、薩摩川内市は再稼働に同意する意向を表明。周辺市町の意向がくまれないまま再稼働の

集団的自衛権

閣議決定問い直して

安倍政権は7月、閣議決定で憲法の解釈を変えて、他国の戦争に協力ができる集団的自衛権の行使を認めた。愛知県一宮市の弁護士、中島万里さん(34)は「米国の戦争に巻き込まれ、国民の生命や財産が脅かされる可能性がある重大なことなのに、閣議決定の前後、仲間の弁護士らとともに、街頭で「衆院を解散して国民に信を問うべきだ」と訴えた。今回の総選挙では、閣議決定の是非も争点にするべきだと考えている。

沖縄米軍基地

なぜ「辺野古が唯一」

沖縄県宜野湾市。米軍普天間飛行場のフェンスから6メートル離れたくない自宅に住む不動産業者、松川寛重さん(69)は、基地問題の論議が深まりそうにない本土にいら立ちを隠せない。「沖縄だけの問題じゃない。国民全体で考えてほしい」
16日の知事選で、名護市辺野古への移設に反対した翁長雄志氏が現職に約10万票差をつけて初当選したばかりだ。松川さんも、県内移設を阻止しようという翁長氏の姿勢に共感する。それでも政府は「辺野古が唯一の解決策」として、工事を進める姿勢を崩さない。「なぜそうなるのか。沖縄の民意を見て、頭を切りかえるべきだ」
沖縄では辺野古移設の是非が、衆院選でも大きな争点になるとみられている。しかし、本土では解散劇に浮足立って、沖縄への関心が、またいつものように薄らぐのでは。松川さんの不安は消えない。

「国も県も意見を聴いてくれな